

ダイナミック DNS IP 更新ツール

DeNSuke

操作マニュアル - 基本編 -

東九州ソフトウェア開発

連絡先

ホームページ URL : <http://densuke.eksd.jp>
電子メールアドレス : densuke@mail.eksd.jp

目次

はじめに	3
本書について	3
DeNSuke を利用するための Windows のログインユーザ	3
DeNSuke はログインしなくても動作	3
本ソフトウェア製品で使われているソフトウェアのライセンス情報	3
使い方	4
DeNSuke の設定画面の起動	4
必要な項目の入力と保存	5
状態の確認	7
設定画面を閉じてログアウトしても動作は継続	7

はじめに

本書について

本書は、DeNSuke の利用方法について説明しています。なお、DeNSuke のパーソナルコンピュータへのインストールはすでに完了していることが前提となっていますので、DeNSuke のインストールが完了していない場合は、別冊の、

- ・『DeNSuke インストールガイド』

を参照して DeNSuke のインストールを行ってください。

DeNSuke を利用するための Windows のログインユーザ

DeNSuke のインストールでは管理権限が割り当てられた Windows ユーザでログインして作業を行う必要がありましたが、インストール後は、管理者権限が割り当てられていない Windows ユーザでも DeNSuke を利用して作業を行うことができます。

DeNSuke はログインしなくても動作

DeNSuke は、インストールが完了した時点で自動的に起動します。また、パーソナルコンピュータの次の起動時にも自動的に DeNSuke は起動し、動作を開始します。

つまり、あらかじめ設定さえ行なってしまえば、ログインしなくてもダイナミック DNS 更新ツールとしての役割を果たすことができます。



ただし、Windows がスタンバイ (スリープ) や休止状態になると動作することができません。DeNSuke が動作しているパーソナルコンピュータはスタンバイ (スリープ) や休止状態にはならない設定にしてください。

本ソフトウェア製品で使用されているソフトウェアのライセンス情報

本ソフトウェア製品は、複数のソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東九州ソフトウェア開発または第三者の著作権が存在します。

- libjpeg -

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- OpenSSL -

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

This product includes cryptographic software written by Eric Young. (eay@cryptsoft.com)

使い方

DeNSuke の使い方は以下の通りです。

DeNSuke の設定画面の起動

デスクトップの DeNSuke アイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから DeNSuke を起動してください。

起動すると以下の設定画面が表示されます。

V-00 : DeNSuke

動作

- * IP検出間隔(秒)
- * IP登録保護(秒)
- * 強制更新間隔(日)

検出

- IP検出日時
- 検出IPアドレス

DDNS 接続 1

- * DDNSサービス
- サブドメイン名
- ドメイン名
- 更新用ID
- 更新用パスワード
- IP登録日時
- 登録IPアドレス
- 登録結果

IPアドレス強制更新

DDNS 接続 2

- DDNSサービス
- サブドメイン名
- ドメイン名
- 更新用ID
- 更新用パスワード
- IP登録日時
- 登録IPアドレス
- 登録結果

IPアドレス強制更新

DDNS 接続 3

- DDNSサービス
- サブドメイン名
- ドメイン名
- 更新用ID
- 更新用パスワード
- IP登録日時
- 登録IPアドレス
- 登録結果

IPアドレス強制更新

ファイルへ出力 ファイルから復元 保存 終了

[説明] ルータのインターネット側IPアドレスを検出する間隔を秒で指定します。例えば 300 が指定された場合は、5分おきにIPアドレスのチェックが行われます。

[状態] <必須入力>

必要な項目の入力と保存

設定画面の各項目を入力します。以下を参考に入力を行ってください。

(1) IP 検出間隔(秒)	ルータのインターネット側 IP アドレスを検出する間隔を秒で指定します。例えば 300 が指定された場合は、5 分おきに IP アドレスのチェックが行われます。 - 例 - 600 ※ 300 未満を入力することはできません
(2) IP 登録保護(秒)	ダイナミック DNS サービスへ IP アドレスの更新要求をかける最短の間隔を秒で指定します。例えば 3600 が指定された場合は、前回の更新から 3600 秒(60 分)が経過するまでは更新は行われません。 これは、ダイナミック DNS サービスへの更新要求の頻度を抑えるために指定するものです。 - 例 - 1800 ※ 900 未満を入力することはできません
(3) 強制更新間隔(日)	IP アドレスが変化しなくても強制的にダイナミック DNS サービスへ更新要求をかける間隔を日数で指定します。例えば 21 が指定された場合は、IP アドレスが変化しなくても 3 週間ごとに強制的な IP アドレスの更新が行われます。 これは、ダイナミック DNS サービスの利用者登録が削除されるのを防ぐためです。ダイナミック DNS サービスによっては、一定期間更新が行われない場合に利用者登録が削除されることがあります。それを防ぐために強制的に IP アドレスを更新させることを目的とした設定項目です。 - 例 - 28 ※ 5 未満を入力することはできません
(4) DDNS サービス	ダイナミック DNS サービスを選択します。 - 例 - Dynamic DDNS!
(5) サブドメイン名	ダイナミック DNS サービスへ登録したサブドメイン名を入力します。 - 例 - yamadatara
(6) ドメイン名	ダイナミック DNS サービスへ登録したドメイン名を入力します。 - 例 - ddo.jp ※ 先頭の . (ピリオド) は入力しません ※ USA City! DDNS の場合は入力することはできません

(7) 更新用 ID	IP アドレス更新用の ID を入力します。 DDNS Now の場合は、 サブドメイン名（ログインで使用するもの） を、Dynamic DO! の場合は、 サブドメイン名. ドメイン名 を、DynDNS の場合は、 Username（My Account でのログインで使用するもの） を、MyDNS. JP の場合は、 MasterID（ログインで使用するもの） を、No-IP の場合は、 Username（ログインで使用するもの） を、USA City! DDNS の場合は、 サブドメイン名（XXX.usn.red や XXX.usq.jp の XXX 部分） を入力します。
(8) 更新用パスワード	IP アドレス更新用のパスワードを入力します。 DDNS Now の場合は、 パスワード（ログインで使用するもの） を、Dynamic DO! の場合は、 登録画面で入力したパスワード を、DynDNS の場合は、 Password（My Account でのログインで使用するもの） を、MyDNS. JP の場合は、 Password（ログインで使用するもの） を、No-IP の場合は、 Password（ログインで使用するもの） を、USA City! DDNS の場合は、 パスワード を入力します。
(9) DDNS サービス ～ (13) 更新用パスワード	2 つめのダイナミック DNS サービスを利用する場合に入力します。入力方法は、(4) DDNS サービス ～ (8) 更新用パスワードと同じです。
(14) DDNS サービス ～ (18) 更新用パスワード	3 つめのダイナミック DNS サービスを利用する場合に入力します。入力方法は、(4) DDNS サービス ～ (8) 更新用パスワードと同じです。

設定画面の各項目の入力が完了したら、[保存]ボタンを押してください(なお、変更していない場合には[保存]ボタンは押せません)。

 重要	保存してもダイナミック DNS サービスへ IP アドレスが登録されたわけではありません。IP アドレスが登録されたかどうかは設定画面で確認する必要があります。詳細は、次節の、 『状態の確認』 を参照してください。
--	--

状態の確認

DeNSuke がどんな IP アドレスを検出したか、どんな IP アドレスをダイナミック DNS サービスへ登録したか、そして登録は成功したのかは、設定画面の以下の項目で確認する必要があります。

(1) IP 検出日時	最後にルータのインターネット側 IP アドレスを検出した日時です。
(2) 検出 IP アドレス	検出した IP アドレスです。
(3) IP 登録日時	最後にダイナミック DNS サービスへ IP アドレス登録の要求を出した日時です。
(4) 登録 IP アドレス	登録の要求を出した IP アドレスです。
(5) 登録結果	登録の結果です。

設定画面を閉じててもログアウトしても動作は継続

DeNSuke の本体は Windows サービスとして動作しています。設定画面は DeNSuke の本体と設定を受け渡しするためだけのものです。そのため、設定画面を閉じてても DeNSuke は動作を継続しています。

また、設定画面での設定の保存が完了したら、Windows からログアウトしても構いません。Windows にログインしていない状態でも DeNSuke は動作しています。

 重要	ただし、Windows がスタンバイ (スリープ) や休止状態になると動作することができません。DeNSuke が動作しているパーソナルコンピュータはスタンバイ (スリープ) や休止状態にはならない設定にしてください。
--	--